

第4学年国語科学習指導案

単元名 写真と文章で説明しよう
～仕事リーフレットを作ろう～

教材名 「アップとルーズで伝える」中谷 日出 作 (光村図書 小学校4年下)

1 単元について

(1)児童観

児童は、前単元「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」(光村図書4年上)で、筆者の考えを読み取るために段落相互のつながりや事実・説明・筆者の考えの関係をとらえる説明的文章の学習をしてきている。また、文章を読んで筆者の考えに対する自分の考えをまとめるという学習活動を経験し、読み手を納得させる文章の組み立て方の工夫ができるようになってきている。

また、「新聞を作ろう」では、新聞の特徴と作り方を学び、伝えたいことを割り付けを考えて工夫してまとめる学習を経験している。しかし、伝えたい内容と収集した写真や絵が合っていなかったり、書く活動を進めるうちに伝えたいことが明確にならなかつたりして、伝えたいことを正しく効果的に説明するまでに至っていない。そこで、視聴覚メディアに興味が高くなるこの時期に、伝えたいことをはっきりさせながら効果的に説明する学習をすることは意義深いと考える。

(2)教材観

教材文「アップとルーズで伝える」は、サッカーのテレビ中継を通して映像の取り方に焦点をあて、「アップ」と「ルーズ」という用語を具体的に説明している文章である。アップとルーズの違いがよく分かる写真が使われており、写真と段落の関連性を考えながら、語句の理解や段落の内容、対比的な説明、段落相互のつながりを学習することができる。本単元では、この読みの学習を生かして、書く活動である「仕事リーフレットを作ろう」をつなげて指導することとする。

本単元では、自分が伝えたいことを効果的に説明する力を高めさせることをねらいとする。これは、第3学年及び4学年「C読むこと」(1)イの「目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて文章を読むこと」と「B書くこと」(1)ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や意図に応じて理由や事例を挙げて書くこと」である。リーフレットを作るという活動は、「B書くこと」(2)ウの「収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書く」言語活動にあたる。「読むこと」と「書くこと」との関連を図り、必然性をもたせることに適した教材である。

(3)指導観

単元導入時には、写真と文章とを結び付けるゲームを行い、写真と文章で説明することに興味をもたせ、「上手な説明の仕方の工夫を見つけよう」「学習を生かして写真と文章を使った説明文を書こう」という二つの学習課題を立て、学習の目的と見通しをもたせ意欲的に学習に取り組めるようする。

次に、教材文「アップとルーズで伝える」を読み取る段階では、キーワードや指示語・接続語、文末表現の着目させながら、「構成」「写真と文章の対応」「段落の対比」など筆者の書きぶりから説明の仕方の工夫について考えさせる。

そして、「仕事リーフレットを作ろう」では、伝えたいことに合わせて写真を選び、写真を分かりやすく説明文に表現させる。日ごろ気付きにくい学校を支える人の仕事に興味をもたせ、読みでの学習を意識しながら主体的に取材、情報の選択、表現、発信を体験させたい。

2 単元の目標

- (1) それぞれの段落が文章全体の中で果たしている役割を考えて読んだり，資料と文章との対応部分について説明の工夫に気付いたりすることができる。
- (2) 書こうとすることの中心を明確にして，写真と文章を対応させながら，リーフレット作りを通して紹介したい仕事について説明する文章を書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	1 写真と文章を対応させて説明的な文章を読んだり，取材したことを写真と文章で分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。
イ 書く能力	1 取材したことを効果的に伝えるため，写真と文章を対応させて説明する文をリーフレットに書いている。 【B書くこと(1)ウ】 2 書いた説明文について，写真と文章の対応という視点から，リーフレットに書く内容確かめたり，修正したりしている。 【B書くこと(1)オ】
ウ 読む能力	1 「アップ」と「ルーズ」の働きについて，写真と文章を対応させながら，中心となる語や文をとらえ，段落相互の関係を考えながら読んでいる。 【C読むこと(1)ウ】
エ 言語に関する知識・理解・技能	1 文章全体におけるそれぞれの段落の役割や，接続表現の意味を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の(1)イ(キ)】

4 指導と評価の計画（全16時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	「写真」と「文章」ぴったんこゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・バラバラになった写真と文章をつなぎ，問題点について話し合わせる。 ・ゲームを通して，写真と文章で説明する方法や説明の仕方についての問題意識をもたせる。 	ア 学習課題を決めるため，積極的に話し合おうとしている。 〔学習課題についての発言・ワークシートの記述〕
	2	教材文「アップとルーズで伝える」を読み，学習課題を設定し，計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み，筆者の説明の工夫に興味をもたせ，「説明の仕方について考えよう」「学習を生かして写真と文章で説明しよう」という二つの学習課題を設定し，学習計画を立てさせる。 	ア 説明の仕方の関心を持ち，学習課題を解決するための見通しを計画表に書いている。 〔学習課題についての発言・ワークシートの記述〕
二	3	教材文「アップとルーズで伝える」を読み，自分の考えをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの視点に従って，自分の考えをもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・話題 ・構成 ・筆者が伝えたいこと <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード ・表現の工夫 	ウ 教材文を読み，読みの視点に従って，自分で読み取ったことをワークシートに書いている。 〔ワークシートの記述内容〕
	4	文章の組み立てに	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や接続語に注目さ 	ウ 文章構成を理解してい

	について考える。	せ，効果的な説明の工夫について考えさせる。	る。 〔ワークシートの記述・発言〕
5	写真と文章の関係を考える。	・ 写真と段落を対応させて読ませ，写真を使って説明することのよさに気付かせる。	ウ 写真と本文を対応させて書くことよさに気付いている。 〔ワークシートの記述・発言〕
6	「アップ」と「ルーズ」の関係を考える。	・ 接続語に着目して，「アップ」と「ルーズ」にはそれぞれ伝えられることと伝えられないことがあることから，対比することのよさに気付かせる。	ウ 対比を使って説明することのよさに気付いている。 〔ワークシートの記述・発言〕
三	7	身の回りの「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ，説明する上でのよさを報告し合う。	ウ 結論の書き方のよさに気付いている。 〔作業の様子の観察・ワークシートの記述〕
8	「写真と文章で説明文を書く」という学習課題を確認し，リーフレットを作る計画を立てる。	・ 写真と文章で構成したリーフレットの中の説明する文章のモデルを提示し，出来上がりのイメージをつかませる。	ア 学習した説明の工夫を使って説明文を書くための取材の進め方について見通しをもっている。 〔学習課題についての発言 ワークシートの記述〕
四	9	質問する計画を立てる。	・ 「誰に」「どんなことを聞くのか」を考えワークシートに書かせる。 ア 聞きたい内容を整理して，質問することを決めようとしている。 〔ワークシートの記述〕
10 ・ 11	計画に従って取材する。	・ 取材のためのメモにしたがって知らせたい内容を調べさせる。 ・ 知らせたいことに合わせて，写真を準備し，選ばせる。	ア 進んで材料を集めようとしている。 〔ワークシートの記述〕
12 ・ 13 (本 時)	取材したことを整理し，写真と対応させながら説明文を書く。	・ 取材したことから必要なことを選んだり，整理したりさせる。 ・ 写真と文章を対応させながら，100字～200字程度で説明する文を書かせる。	イ - 1 目的や相手に合った題材を選び，写真と文章を対応させて書いている。 〔説明文の記述〕
14 ・	書き上がったリーフレットを読み合い，	・ 書き上がったリーフレットをグループで読み合い，友達の説明	イ - 2 説明文の工夫を意識しながら，写真と文章

15	推敲する。	の工夫について相互評価させる。 ・交流での意見を参考に，修正・付け加えを行わせ，清書させる。	の対応という視点で読み合い，推敲している。 〔交流の様子の観察・ワークシートの記述〕
16	学習を振り返り，まとめをする。	・評価表を使って自己評価させ，自分が身に付けた力に気付かせる。	エ 学習を振り返り，説明の工夫や身に付けた力について気付いている。 〔ワークシートの記述〕

5 本時の計画（12・13 / 16）

(1) 目標

目的に合った題材を選び，写真と文章を対応させて説明文を書くことができる。

(2) 展開 2時間分の展開です。

学習活動	指導上の留意点及び評価
1 学習のめあてを確認する。	学習計画表から本時のめあてを確認させる。
伝えたいことに合う写真を選び，説明する文章を書こう。	
2 教材文で学習した分かりやすい説明文の書き方の工夫を確認する。	これまでの学習を振り返り，上手な説明文の工夫を確認させる。 写真に合った文章を書くことを強調する。 ワークシートのモデルを基に，書き上がりのイメージをもたせる。 学習の手順について説明し，本時の学習の見通しをもたせる。
<p>【分かりやすい説明の工夫】</p> <p>写真と文章を対応させて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが伝わる写真 ・写真に合った文章(くわしく) ・「はじめ・中・終わり」の構成 	
1,2時目のめやすはここまでですが，児童の実態に応じて，個別に下書きへ進みます。	
3 伝えたいことを確認し，下書きを書く。	「はじめ」「中」「まとめ」の順に書かせる。 その都度，グループや全体で交流し合い，友達の書きぶりを参考に付加修正させる。
<p>「初め」の部分を書く</p> <p>グループで紹介し合う</p> <p>アドバイスし合い，修正する</p> <p>全体で紹介</p> <p>「中」の部分を書く</p> <p>グループで紹介し合う</p> <p>アドバイスし合い，修正する</p> <p>全体で紹介</p> <p>「終わり」の部分を書く</p>	<p>書くことが苦手な児童には，個別にアドバイスを</p> <p>【評価】イ - 1</p> <p>伝えたいことに合わせて写真を選び，写真に合った文章を書いている。〔ワークシートの記述〕</p>

グループで紹介し合う
アドバイスし合い，修正する
全体で紹介

4．本時の学習を振り返る。

5．次時の学習を確認する。

交流の場では，伝えたいことが分かりやすい写真と説明文になっているかを吟味し合わせる。

下書きを交流しての感想やめあてを意識した友達の書きぶりやアドバイスについて感想を交流させる。

互いの良さを話し合わせることで達成感を味わわせる。